

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		立正大学		設置者名	学校法人 立正大学学園			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成20年度)			
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
仏教学部	宗学科	50人	中一種免(社会)	昭和26年度	41人	4人	1人	0人
			中一種免(宗教)	昭和29年度			0人	
			高一種免(公民)	平成2年度			3人	
			高一種免(宗教)	昭和29年度			1人	
	仏教学科	55人	中一種免(社会)	昭和26年度	42人	1人	1人	0人
			中一種免(宗教)	昭和29年度			0人	
			高一種免(地理歴史)	平成2年度			1人	
			高一種免(公民)	平成2年度			0人	
文学部	哲学科	90人	中一種免(社会)	昭和26年度	81人	8人	4人	0人
			高一種免(地理歴史)	平成2年度			6人	
			高一種免(公民)	平成2年度			7人	
	史学科	140人	中一種免(社会)	昭和26年度	147人	29人	20人	0人
			高一種免(地理歴史)	平成2年度			29人	
			高一種免(公民)	平成2年度			11人	
	社会学科	140人	中一種免(社会)	昭和26年度	136人	23人	21人	1人
			高一種免(地理歴史)	平成2年度			11人	
			高一種免(公民)	平成2年度			21人	
	文学科	140人	中一種免(国語)	平成14年度	156人	39人	16人	1人
			高一種免(国語)	平成14年度			19人	
			高一種免(書道)	平成14年度			14人	
中一種免(英語)			平成14年度	18人				
高一種免(英語)			平成14年度	19人				
経済学部	経済学科	360人	中一種免(社会)	昭和26年度	298人	13人	11人	2人
			高一種免(地理歴史)	平成2年度			8人	
			高一種免(公民)	平成2年度			10人	
			高一種免(商業)	昭和26年度			2人	
経営学部	経営学科	300人	高一種免(情報)	平成13年度	308人	0人	0人	1人
			高一種免(商業)	昭和43年度			0人	
法学部	法学科	300人	中一種免(社会)	昭和56年度	269人	13人	6人	1人
			高一種免(地理歴史)	平成2年度			4人	
			高一種免(公民)	平成2年度			13人	
社会福祉学部	社会福祉学科	200人	中一種免(社会)	平成8年度	213人	32人	11人	12人
			高一種免(公民)	平成8年度			19人	
			高一種免(福祉)	平成13年度			21人	
	人間福祉学科	100人	幼一種免	平成8年度	103人	82人	82人	11人
地球環境科学部	環境システム学科	100人	中一種免(理科)	平成10年度	93人	15人	10人	1人
			高一種免(理科)	平成10年度			15人	
			高一種免(情報)	平成14年度			3人	
地理学科	130人	中一種免(社会)	平成10年度	113人	32人	28人	2人	
		高一種免(地理歴史)	平成10年度			31人		
心理学部	臨床心理学科	250人	中一種免(社会)	平成18年度	266人	19人	0人	0人
			高一種免(公民)	平成14年度			19人	
入学定員合計		2,355人	合計		2,266人	310人	540人	32人

大学名	立正大学(大学院)		設置者名	学校法人 立正大学学園				
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況(平成20年度)			
研究科	専攻等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数
						実数	個別	
文学研究科	仏教学専攻	10人	中専修免(社会)	平成2年度	11人	0人	0人	0人
			中専修免(宗教)	平成2年度			0人	
			高専修免(公民)	平成5年度			0人	
			高専修免(宗教)	昭和30年度			0人	
	英米文学専攻	10人	中専修免(英語)	平成2年度	4人	0人	0人	1人
			高専修免(英語)	昭和45年度			0人	
	社会学専攻	10人	中専修免(社会)	平成2年度	2人	0人	0人	0人
			高専修免(公民)	平成5年度			0人	
	史学専攻	10人	中専修免(社会)	平成2年度	9人	0人	0人	0人
			高専修免(地理歴史)	平成5年度			0人	
	国文学専攻	10人	中専修免(国語)	平成2年度	3人	0人	0人	0人
			高専修免(国語)	昭和30年度			0人	
			高専修免(書道)	平成2年度			0人	
	哲学専攻	6人	中専修免(社会)	平成2年度	3人	0人	0人	0人
高専修免(公民)			平成5年度	0人				
経済学研究	経済学専攻	10人	中専修免(社会)	平成2年度	11人	0人	0人	0人
			高専修免(公民)	平成5年度			0人	
法学研究科	法学専攻	20人	中専修免(社会)	平成7年度	7人	0人	0人	0人
			高専修免(公民)	平成7年度			0人	
経営学研	経営学専攻	10人	高専修免(商業)	平成12年度	4人	1人	1人	1人
福祉学研	社会福祉学専攻	10人	中専修免(社会)	平成12年度	6人	0人	0人	0人
			高専修免(公民)	平成12年度			0人	
環境科学研	地理空間システム学専攻	10人	中専修免(社会)	平成12年度	2人	0人	0人	1人
			高専修免(地理歴史)	平成12年度			0人	
	環境システム学専攻	8人	中専修免(理科)	平成14年度	8人	4人	4人	0人
高専修免(理科)			平成14年度	4人				
高専修免(情報)			平成14年度	0人				
理学研究	臨床心理学専攻	10人	高専修免(公民)	平成17年度	5人	0人	0人	0人
			高専修免(公民)	平成17年度			0人	
	応用心理学専攻	10人	中専修免(社会)	平成19年度	1人	0人	0人	0人
高専修免(公民)			平成17年度	0人				
入学定員合計		144人	合計		76人	5人	9人	3人
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、平成21年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄には各学科等の実人数を、「個別」欄には各学科等内の教職課程ごとの人数である。							

実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成21年6月17日（水）

実地視察大学：立正大学

実地視察委員：宮崎英憲委員、八尾坂修委員

■ 大学の教員養成に対する全般的な状況

<状況>

- ・ 8学部11学科6コースで教員養成を行っている。
- ・ 教員養成に関する教育課程については、全般的に基準を満たしているが、教員組織等について、基準違反となっている学科がある。

<講評>

- ・ 基準を満たしていない学科等は早急に改善すること。

■ 教員養成に対する理念、設置の趣旨等の状況

<状況>

- ・ 日蓮聖人の生涯を貫く立正精神に学ぶことを全学的な建学の理想とし、「モラリスト×エキスパート」のブランドビジョンのもと、教育理念の視覚化、イメージの刷新を図りつつ、学内のアイデンティティを確立し、大学の社会的ポジションを高めるための取り組みを行っている。

- ・ 教員養成の基本理念としては、

- ① しっかりした子ども観・教育観及び世界観の修得
- ② 現代社会の要請に応える教師としての確かな力量
- ③ 教科教育内容及びそれに関連する学問領域における深い洞察力・探究心、真理に忠実な授業及び研究の力量の獲得

であり、そのためのカリキュラム構築においては、

- ① 教育に関する思想及び基礎理論、並びに歴史的・地球的な視野からの教育論
- ② 現代の問題（特に現代青年論）の確実な理解
- ③ カリキュラム編成における重点事項（1. 「憲法・教育法学的な学習」 2. 「演習方式の拡充」 3. 「生涯学習論的な広い視野からの学習」）

を重要視している。

<講評>

- ・ 大学が掲げる教員養成に対する理念・構想は明確に示されており、それを具体化するための組織及び取組が見られることは評価できる。今後は、貴学が掲げるブランドビジョン（「モラリスト×エキスパート」）をさらに明確化・具体化するような取組を行ってほしい。

- ・ 教員養成を行っている校舎間における連携・協力を深めてほしい。

■ 教育課程（教職に関する科目等）、履修方法及びシラバスの状況

<状況>

- ・ 「モラリスト×エキスパート」を実現するため、「学修の基礎」を大学の必修科目

として開設している。

- ・教科の指導法に関する科目について、受講生が学習指導要領を持参している。
- ・教員によっては、成績評価として出席を過大に評価している。

<講評>

- ・教職の授業として、授業に出席するのは当然のことであるため、出席のみで加点するような評価方法は見直すこと。
- ・教職に関する科目について、担当教員の特色をいかして授業を行うことは構わないが、教育職員免許法施行規則で定める「含めることが必要な事項」など、教職に係る基礎的な内容は、担当教員によって違いが出ないようにしてほしい。
- ・教科の指導法に関する科目については、シラバス中に教科書として特別支援学校学習指導要領なども使用するよう推奨してほしい。
- ・模擬授業を取り入れる、学校現場経験者による授業を行うなど、授業内容のさらなる工夫を図ってほしい。

■ 教育実習の取組状況

<状況>

- ・中等教育教員養成課程及び特別支援教員養成課程における実習校の確保は、母校実習を原則としている。
- ・幼稚園教員養成課程における実習校の確保は、教育委員会に連絡を行うか、大学として主体的に行っている。

<講評>

- ・教育委員会や実習校との連携について、学科によっては連携を図っているが、実習の企画・実施・評価については、大学として主体的にあたり、実習に対する責任ある指導体制を確立してほしい。
- ・事前及び事後指導の充実を図ってほしい。

■ 学校現場体験・学校ボランティア活動などの取組状況

<状況>

- ・各学科ごとに以下の内容を行っている。
- 文学部 社会学科：
- (1)「立正大学犯罪社会学研究会」による活動を通して、学校へ赴き、児童に地域安全マップ（犯罪が起こりやすい場所を表示した地図）の作製の指導
 - (2)品川区の事業「スマイルスクール」において、小学校における放課後の様々な学びの体験するボランティア活動
- 社会福祉学部 社会福祉学科：
- (1)障害児者と接する体験（ボランティア活動、アルバイト等による障害児学童保育や障害者施設等の活動）の推奨
 - (2)「立正大学社会福祉学部ボランティア活動推進センター」のコーディネイトによる各種の行事等への参加
- 社会福祉学部 人間福祉学科：
- (1)基礎ゼミナールにおける幼稚園の「施設見学」の実施
 - (2)立正大学社会福祉学部附置施設である社会福祉学部ボランティア活動推進センターを通しての幼稚園におけるボランティア活動の斡旋

○地球環境科学部 地理学科：

(1)児童・生徒を対象に「彩の国環境地図作品展」の実施（表彰式及び発表会の運営補佐および発表指導）及び「地図づくり教室」の開催（環境の調べ方や地図の見方および環境地図の作成方法についての指導）

・ボランティアの全学的取組みプランとしては、「ボランティア活動推進センター」を全学的組織として位置づけ、発展拡充を行う計画を推進している。

■ 教職指導及びその指導体制の状況

<状況>

・学生に対する個別指導を行っている。
・教員免許状取得増加のため、授業外の講座を開講し、教員免許状希望学生に対する追加の支援を行っている。

<講評>

・学生の年次に応じた段階的な履修指導を行い、教員の魅力を学生に十分伝えて欲しい。その結果として、教員免許状のさらなる増加を図ってほしい。
・段階的に教職課程への参加条件を厳しくしていることは評価できるが、学生がそれを乗り越えられるような体系付けた教員養成を行ってほしい。
・キャリアサポートセンターの教員養成に対する取組のさらなる充実を図ってほしい。

■ 教員養成カリキュラム委員会などの全学的組織の状況

<状況>

・教員養成の理念を実現するために、学内においては、立正大学教職課程等運営委員会及び立正大学教職委員会を設置して、全学的に取り組むとともに、対外的には、関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会、全国私立大学教職課程研究連絡協議会及び東京地区教育実習研究連絡協議会等を通じて近隣及び全国の大学ならびに東京都教育委員会等と連絡を取りながら連携・協力を進めている。

■ 施設・設備（図書等を含む。）の状況

<状況>

・教職に関する科目の図書等の冊数は、大崎キャンパスについては、3,726冊、熊谷キャンパスについては、5,801冊（特別支援教育に関する図書等の冊数含む。）となっている。
・コンピュータ等は、大崎キャンパスについては、645台、熊谷キャンパスについては、384台それぞれ備えられている。

<講評>

・教職に関する科目の図書等は、多種のものが備えられており評価できる。
・情報機器について、十分整備されている。